

2020年度 会頭あいさつ 08月

日頃より日本青年会議所に対しまして、ご理解のもと出向者の輩出と運動へのご協力を賜っております。ことに心より御礼申し上げます。また令和2年7月の豪雨災害でお亡くなりになられた方々に対してご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方々に衷心よりお見舞いを申し上げます。

7月4日からの梅雨前線停滞によって、九州地区、中国地区、長野県、岐阜県、そして28日には山形県に甚大な被害が発生しました。本会の被災地支援については、災害対策本部を設置し、緊急支援金を送金させていただき、皆様からも支援物資を被災地にお届けいただきました。このスピーディーな対応と全国的なネットワークこそが、青年会議所が持つスケールメリットであると改めて感じております。困っている人がいれば、すぐ手を差し伸べ助け合う、この実践力が私たちの強みであり、過去から受け継いだ精神性を表していると私は思います。被災地のメンバーは、懸命に復旧支援活動に取り組んでいます。離れていてもできる支援を考え、被災地に心を寄せていただければ幸いです。

7月11日には感染拡大の予防を徹底したなか、名古屋青年会議所が70周年記念式典をリアルとWEBを活用したハイブリット形式を取り開催を実現しました。全国の会員会議所にとって、希望となる開催であったと思います。本会としても内閣官房のHPに「業種別ガイドライン」として、経済産業省と政府の専門家会議のご指導を仰いで作成した「カンファレンス開催ガイドライン」を掲載しております。

これは青年会議所だけでなく、他の団体も活用できるガイドラインとなっております。

また不特定多数の参加を想定した「お祭りや地域の行事、イベント等の開催に関するガイドライン」についても観光庁と調整のうえ作成し、メンバーの皆様が地域での活動を再開できるよう整備を行っております。新型コロナウイルスとの共生社会、ニューノーマル時代を生き抜くうえで、共に様々なアイデアを出し合い、新しい常識を生み出す起点としてまいりましょう。

その新たな時代の幕開けとして相応しい、「全国一斉花火プロジェクト～はじまりの花火～」を本来東京オリンピックの開会式を行う予定であった7月24日に皆様のご理解とご協力により、盛会に開催することができました。

同じ時刻、同じ夜空を見上げ、人びとが、同じ時刻、同じ夜空を見上げ、心に抱く不安な気持ちを払拭することを目的とした花火は、夜空に大輪を咲かせ国民の心を明るく照らしてくれました。私たちが率先して興したこの運動は、一筋の光を放ち社会をより良く変えるひとつのモデルになったと確信しております。

先日の理事会では、2021年度会頭当選者に横浜青年会議所の野並晃君が報告され、希望をつなぐことができました。そして全国大会北海道札幌大会においても主管 LOM の札幌青年会議所と本会が、しっかりと手を携えて感染予防対策を行い、皆様をお迎えする準備を進めております。

現状をしっかりと把握し、困難な状況だからこそ悲観的にならず、できることを着実にやり、
一步一步進めてまいります。

つなげよう、みんなの笑顔

真実一路 軌跡を紡ぎ、奇跡を起こそう！

私たち自身が、成長するために修練に励み、
社会により良い変化を起こそう！
未来を生きる人びとに素敵な日本を！

2020年08月
公益社団法人日本青年会議所 第69代会頭
石田 正史